

## 令和3年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

小中一貫教育校として16年の実績を重ね、その特色を生かし、9年間の義務教育の充実を目指した学校教育を行っていることが評価できる。タブレット端末などICT機器を効果的に活用し、デジタル教科書や学習ソフト、アプリケーションを使用した授業が行われている。また、児童生徒が主体的に活動する課題解決型の授業が行われている。さらに、個の習熟度に合わせた習熟度別少人数授業や補充教室などが組織的に行われ、成果を上げている。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

#### 1 学力向上

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

基礎的、基本的な学力の定着と発展的な学習に取り組み、小・中学校とも足立区学力調査において到達目標を達成している。また、児童・生徒による授業評価では、「授業が分かるか」の質問において、7月に比べ12月の肯定的な回答の割合が全学年で上昇している。組織的な授業改善、ICT機器を活用した授業の充実、補充教室の実施により、基礎学力の定着と学習意欲の向上が図ることができたと考える。さらに子供たちの学力向上に努めてほしい。

#### 2 小中一貫教育の確立

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

小学校と中学校教員が共同による教科等の研究や授業研究の実施など、系統的で一貫性のある指導ができています。小学校教員と中学校とが、互いの指導方法のよいところを取り入れ、指導力の向上を図っている。また、小学校、中学校ともにタブレット端末を活用した指導方法を研究し、実践力を高めた。さらに、小学校と中学校の学力調査及び意識調査結果を全教職員で共有し、その課題解決に向けて取り組み、小中一貫教育校として成果を上げている。

保護者による学校評価アンケートでは、本学園の小中一貫教育に肯定的な割合が77%であった。

#### 3 キャリア教育の推進

達成度○（おおむね達成）は妥当と評価する。

ICT機器推進モデル校として、ICT機器を活用した公開授業を実施し、児童・生徒の主体的・対話的な学習を促進させ、論理的思考の育成に努めている。学校生活アンケートにおいて中学生の94%がタブレット端末を活用できていると回答している。また、国際コミュニケーション科の授業を計画的、継続的に行い、社会の一員として必要な資質能力の育成を図ることができている。

### 3 その他 学校活動全般について

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、安全に教育活動をすすめていた。

小中一貫教育の特色を生かし、9年間を通じた教育活動を実践し、今年度は足立区学力調査において小学校、中学校ともに成果を上げている。国際コミュニケーション科を充実させ、発達段階に合わせた9年間の継続した教育活動を進め、児童・生徒の生きる力を育ててほしい。また、地域でのボランティア活動は学校や地域、子供たちにとっても大きな力になっている。秋の花いっぱい運動では、多くの児童生徒がボランティアに応募し、東西校舎周辺に花の苗を植えた。今後も、さらに地域から信頼される学校を目指してほしい。